

令和元年 7月31日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員会

種目 美術

代表者 港町小 学校

氏名 小竹 術

呉市教科用図書調査・研究報告書について (報告)

このことについては、別添のとおりです。

【美術】

観点	基礎・基本の定着
視点	①題材の目標の示し方
方法	題材の目標及び導入の文章の記載

発行者	調査・研究内容
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> 各題材の目標は、示されていないが、表現と鑑賞が一体となっている題材があり、それぞれの題材のページの終わりの部分に「ふりかえり」を設定している。 表現と鑑賞が一体となった題材では、美術の評価の4つの観点すべてに関する「ふりかえり」を設定している。 それぞれのページの「ふりかえり」は、4つの観点を色分けして示してある。 <p>【例】題材名「心ひかれる風景」(1年, 絵や彫刻)</p> <ul style="list-style-type: none"> 風景画のよさや美しさに関心を持ちましたか。 スケッチなどを通してどのような主題を構想しましたか。 色彩や構図を工夫し、季節や時間をどのように表しましたか。 作者の思いを考えながら風景画を鑑賞しましたか。 <ul style="list-style-type: none"> 各ページの題材名の下に題材への導入の文章が記載されている。 それぞれの題材に関する話題や表現や鑑賞のポイントに触れながら導入している。 <p>【例：表現や鑑賞のポイント】</p> <p>題材名「心ひかれる風景」(1年生, 絵や彫刻)</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの風景には、その時間、その季節でしか味わうことのできない美しさがあります。形や色彩、光の感じなどに目を向け、自分が見つけた心ひかれる風景を描いてみましょう。
光村	<ul style="list-style-type: none"> 各ページの題材名の隣に、「目標」が示してある。 表現の「目標」は、美術の評価の4つの観点すべてに関する「目標」を設定している。 鑑賞の「目標」は、「美術への関心・意欲・態度」と「鑑賞の能力」に関する目標を設定している。 <p>【例】題材名「心安らぐ 私の風景」(1年, 絵や彫刻)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな風景を探してみよう。 風景のどこに心引かれたのか考えながら構想を練ろう。 鉛筆や水彩絵の具などの使い方を工夫して描こう。 作品を見て、その場所を選んだ作者の気持ちを感じ取ろう。 <ul style="list-style-type: none"> 各ページの題材名の下に題材への導入の文章が記載されている。 それぞれの題材に関する話題や言葉の意味、表現や鑑賞のポイントに触れながら導入している。 <p>※「言葉の意味」の掲載ページ</p>

	<p>2・3 p 22 「浮世絵の絵師・彫師・摺師についての説明」 2・3 p 56 「ユニバーサルデザインについての説明」</p> <p>【例：表現や鑑賞のポイント】 題材名「心安らぐ 私の風景」（1年生，絵や彫刻）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな風景を描いてみよう。場所が決まったら，そのよさを十分に引き出す方法を考えながら描いてみよう。絵の雰囲気は全体と部分の関係や，鉛筆や絵の具の使い方などで大きく変わる。自分らしい，とっておきの絵に仕上げよう。
<p>日文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各ページの題材名の隣に，「学びのねらい」を示してある。 ・表現の「学びのねらい」は，「関心・意欲・態度」「発想や構想」「創造的な技能」「鑑賞」に関するねらい，つまり美術の評価の4つの観点すべてにおいて設定している。 ・鑑賞の「学びのねらい」は，「関心・意欲・態度」に関する目標と「鑑賞」に関するねらいを設定している。 ・それぞれのねらいの文頭には，4つの観点をマークにして示してある。 <p>【例】題材名「なぜか気になる情景」（1年，絵や彫刻）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で気になる場所やものなどを見つけ，その特徴をとらえて表すことに関心を持とう。 ・気になる場所から，表したい主題を明確にして表現の構想を練ろう。 ・表したい場所の範囲や画面の構成，奥行き感や色彩などを，工夫して表そう。 ・気になった場所を，どのように工夫して表現しているかを感じ取ろう。 <ul style="list-style-type: none"> ・各ページの題材名の下に題材への導入の文章が記載されている。 ・それぞれの題材の主題となる事項についての話題や言葉の意味，表現や鑑賞のポイントに触れながら，語りかけるように導入している。 <p>※「言葉の意味」の掲載ページ</p> <p>2・3上 p 38 「ピクトグラムについての説明」 2・3上 p 42 「ユニバーサルデザインについての説明」 2・3下 p 38 「天然染料についての説明」</p> <p>【例：表現や鑑賞のポイント】 題材名「なぜか気になる情景」（1年生，絵や彫刻）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の生活の中で，気になっている場所やものが，自分に語りかけてくるメッセージを受け止め，表現方法を工夫して表しましょう。

【美術】

観点	基礎・基本の定着
視点	②作品の理解を深めるための工夫
方法	基礎的な技法や知識等に関する記載

発行者	調査・研究内容
開隆堂	<p>・巻末に基礎的な技法や知識等に関する資料のページが設けられている。</p> <p>美術1では、「パレットコーナー（水彩等の用具の使い方）」、「工具箱（道具の使い方）」、「色彩ホームページ（色や光について）」 ※p 50～57（8ページ使用）</p> <p>美術2・3では、「人の表現から見る美術の歴史」、「色彩ホームページ（日本や西洋の色）」が掲載されている。 ※p 103～107（5ページ使用）</p>
光村	<p>・巻末に基礎的な技法や知識等に関する資料「学習を支える資料」のページが設けられている。</p> <p>美術1では、「発想のためのスケッチブック（彫刻家のスケッチブック）」、「鉛筆やペンで描く」、「絵の具で描く」、「さまざまな技法で描く」、「文字をデザインする」、「粘土でつくる」、「木でつくる」、「色と光の特徴を知ろう」「形と材料の特徴を知ろう」が掲載されている。 ※p 46～67（22ページ使用）</p> <p>美術2・3では、「発想のためのスケッチブック（コスチュームアーティストのスケッチブック）」、「映像メディアを活用する」「金属や石でつくる」「色と光の特徴を知ろう」「形と材料の特徴を知ろう」「トピックス美術史」「絵巻物を楽しむ」などが掲載されている。 ※p 78～103（26ページ使用）</p> <p>・基礎的な技法や知識についての説明が詳しく、主体的な学習に向けて関心・意欲をもたせる記述がある。</p> <p>【記述例：「絵の具で描く」】 絵の具は豊かな色彩表現に欠かせない用具だ。用具の扱い方や表現方法を参考にして自分の表現を探ってみよう。</p>
日文	<p>・巻末に基礎的な技法や知識等に関する資料のページが設けられている。</p> <p>美術1では、「自然界や身の回りにある形や色」「鉛筆で描く」「水彩で描く」「遠近感を表す」「色の広がり、色の魅力」「モダンテクニック」「木版画」「木工の技法」「焼き物をつくる」が掲載されている。 ※p 50～59（10ページ使用）</p>

	<p>美術2・3上では、「日本美術の展開と世界との交流」「現代に受けつがれる浮世絵版画」「木でつくる」「金属でつくる」「色について理解を深めよう」が掲載されている。</p> <p>※p50～57（8ページ使用）</p> <p>美術2・3下では、「日本の世界文化遺産」「写真撮影の第一歩」「コンピュータグラフィックスの表現」「アニメーションの表現」「石を彫る」「織る」「仏像の種類」「近代の建築」が掲載されている。</p> <p>※p48～49, p53～55（5ページ使用）</p> <p>・基礎的な技法や知識をもとに、主体的な学習に向けて関心・意欲をもたせる記述がある。</p> <p>【記述例：「水彩で描く」】 水彩絵の具の基礎的な技法を身につけて、表したい内容に合った表現方法を工夫しましょう。</p> <p>・紙質の違うページを設け、「墨絵」「屏風」「浮世絵」「金箔を使った表現」などを鑑賞するために適した作りになっている。2・3上, p23～30</p>
--	--

巻末の基礎的な技法や知識等に関する資料のページ

	1	2・3（上下）	合計	備考
開隆堂	8ページ	5ページ	13ページ	巻末のページへの記載は少ないが、表現の題材のページに、基礎的な技法や知識等に関する多くの記載がある。
光村	22ページ	26ページ	48ページ	巻末のページ以外にも、表現の題材のページに、基礎的な技法や知識等についての記載がある。
日文	10ページ	8ページ（2・3上） 5ページ（2・3下）	23ページ	巻末のページ以外にも、表現の題材のページに、基礎的な技法や知識等についての記載がある。

【美術】

観点	基礎・基本の定着
視点	③日本や諸外国の美術文化の取扱い
方法	日本や諸外国の美術文化を扱う題材名及び掲載作品の特徴

発行者	調査・研究内容
開隆堂	<p>【美術1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○比べてみよう <ul style="list-style-type: none"> ・「東海道五十三次之内 庄野」「雪の中の狩人」描かれた時代も国も異なる2枚の絵 ○原寸ギャラリー <ul style="list-style-type: none"> ・「樹花鳥獣図屏風」江戸時代に京都を中心に町絵師として活躍した伊藤若冲。写実と想像を巧みに織り交ぜた独特な画風。升目描きと呼ばれる技法。 ○材料を生かして <ul style="list-style-type: none"> ・「陽光」（両面透かしうちわ）イメージとしての涼感を楽しむ ・世界に広がるBENTO文化 <p>【美術2・3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○他人と違っていること、他人と同じであること <ul style="list-style-type: none"> ・「群青富士」横山大観、「富嶽三十六景 凱風快晴」葛飾北斎、「富士三十六景 駿河三保之松原」歌川広重、「富士山図屏風」谷文晁、「清水の富士」五姓田義松、「三十六富士 十里木秋雲」萩原英雄、「山 富士山」片岡球子 富士の美しい姿形や色は、周囲の自然やそれを育ててきた文化とともに、古くから多くの画家たちに描かれてきた。画家それぞれの表現は異なる。 ○美術はいつも生活や暮らしの中に <ul style="list-style-type: none"> ・美術を伝統の技に ねぶた師 ○劇的な瞬間を描く <ul style="list-style-type: none"> ・「最後の晩餐」レオナルド・ダ・ヴィンチ ○ルネサンスの美術 <ul style="list-style-type: none"> ・「牧場の聖母子」ラファエロ、「ロレンツォ・デ・メディチ墓碑」「最後の審判」ミケランジェロ 人間再発見と科学の時代 ○原寸ギャラリー <ul style="list-style-type: none"> ・「モナ・リザ」レオナルド・ダ・ヴィンチ ルネサンス期に活躍した万能の天才画家の原寸大の作品 ○絵巻物の世界 むかしむかしのアニメーション <ul style="list-style-type: none"> ・「伴大納言絵巻」「鳥獣人物戯画」 伝統的な表現方法が現代にも活用されている ・漫画からMANGAへ ○モノトーンの美しさ <ul style="list-style-type: none"> ・「枯木鳴鶴図」宮本武蔵、「秋冬山水図・冬景図」雪舟等楊、「松林図屏風」長谷川等伯
	<ul style="list-style-type: none"> ○原寸ギャラリー <ul style="list-style-type: none"> ・「桜図」長谷川久蔵「楓図」長谷川等伯 桃山時代に活躍した長谷川久蔵は、等伯の息子。二枚とも国宝で智積院蔵

	<p>○伝統の美に学ぶ 江戸のデザインセンス・琳派の造形</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「鶴下絵三十六歌仙和歌巻」本阿弥光悦, 俵屋宗達, 「八橋蒔絵螺鈿硯箱」尾形光琳, 「色絵竜田川文透彫反鉢」尾形乾山, 「白綾地秋草模様小袖」尾形光琳筆, 「風神雷神図屏風」俵屋宗達, 「紅白梅図屏風」尾形光琳, 「夏秋草図屏風」酒井抱一, 「黒き猫」菱田春草, ・掛軸, 扇子, 屏風 <p>○祈りの造形</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「阿修羅像」興福寺蔵, 「阿弥陀如来坐像」平等院鳳凰堂蔵, 「空也上人立像」六波羅蜜寺蔵, 「雲中供養菩薩像」平等院鳳凰堂蔵 飛鳥時代に我が国に伝わった仏教の仏の姿の立体像 ・「菩薩立像」(クシャーン朝時代)「雲岡石窟第20窟本尊如来坐像」(中国) 「石窟庵如来坐像」(韓国) アジアに広がる仏教美術 <p>○デザインする心</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江戸のデザインセンス・粋 ・伝統の美に学ぼう 和服, 和菓子 <p>○人がつくる, 技を極める</p> <p>技と心を伝える日本の伝統工芸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「褐釉蟹貼付台付鉢」宮川香山, 「伊勢えびの置物」作者不詳 ・根付 「白兔牙彫根付」「鳥天狗木彫根付」 ・沈金 「雉子沈金衣裳箱」前大峰 ・紅型 「黄色地松皮菱菊藤菊流水菖蒲文様紅型木綿袷衣裳」 ・伝統工芸を知ろう 「山中漆器」「江戸切子」「京鹿の子絞り」「大島紬」「備前焼」「有田焼」「南部鉄器」「駿河竹千筋細工」「丸亀団扇」「大阪浪華錫器」 <p>○色彩ホームページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統色 ・西洋の伝統色 ・美しい日本の配色文化「桂離宮松琴亭茶室」「萌葱縮緬地燕藤波模様染縫小袖」「黄羅紗地竹文縫筥迫」「色絵琴高仙人文鉢」「名所江戸百景 日本橋通一丁目略図」歌川広重
光村	<p>【美術1】</p> <p>○美術ってなんだろう?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術文化を理解し, 大切にす「サグラダ・ファミリア大聖堂」「紬織振袖 暈し段」 <p>○特別展示室 風神雷神, 自然と人と</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「風神・雷神像」蓮華王院三十三間堂蔵, 「風神雷神図屏風」俵屋宗達 <p>○自然とともにある日本の美</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「風神雷神図屏風」尾形光琳, 「夏秋草図屏風」酒井抱一, 「風神雷神図屏風」酒井抱一, 「燕子花図屏風」尾形光琳, 「向日葵図」鈴木其一, 「梅樹扇模様帷子」 日本人が大切にしてきた自然や季節の美しさを感じ取ろう <p>○気持ちを伝えるデザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心と心を結ぶ水引

- 原寸大で鑑賞しよう
 - ・「火焰型土器」
 - ・アジアをつなぐ仮面の舞
 - ・「能（演目「道成寺）」日本、「江陵端午祭の仮面劇」韓国、「儺戯」中国、「ダミツ・エ・ンガ・チャム」ブータン
- 【美術2・3】
- 感じたことを話し合おう
 - ・「阿修羅像」興福寺
- 墨の世界を体感しよう
 - ・「松林図屏風」長谷川等伯、「洛中洛外雨十題 宇治川雷雨」横山大観
- 浮世絵から学ぶ江戸の職人技
 - ・「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」葛飾北斎
 - 制作過程の再現
- 原寸大で鑑賞しよう
 - ・「鳥獣花木図屏風」伊藤若冲
 - 樹目描きの手法
- 北と南の風土から
 - ・アイヌの伝統文様「アットゥシアミプ」「カパリミプ」
 - ・紅型「黄色地松皮菱菊藤菊流水菖蒲文様紅型木綿袷衣裳」
- 季節感のある暮らしを楽しむ
 - ・季節の和菓子
 - ・「水うちわ 水面の鮎香る」大田 勇、「雪模様蒔絵櫛」,「江戸風鈴」
- 原寸大で鑑賞しよう
 - ・「平螺鈿背円鏡」
 - 螺鈿による装飾, シルクロードと正倉院の宝物
- 色と光の特徴を知ろう
 - ・光と影の伝統芸能「ワヤン・クリ」インドネシア
 - ・日本の伝統色
 - ・かさねの色目
 - ・日本の伝統色の顔料
- 飛鳥・奈良時代の仏像
 - ・「弥勒菩薩交脚像」ガンダーラ,「菩薩像」中国,「菩薩半跏思惟像」朝鮮,「弥勒菩薩半跏思惟像」広隆寺蔵,「聖観世音菩薩立像」薬師寺東院蔵,「執金剛神立像」東大寺法華堂蔵,「廬舎那仏坐像（大仏）」東大寺金堂蔵
- ルネサンス
- 印象派
- ジャポニスム
- 日本の世界遺産
- 絵巻物を楽しむ
 - ・「鳥獣人物戯画」筆と墨の豊かな表現
 - ・「伴天納言絵巻」「石山寺縁起絵巻」「鳥獣人物戯画」現代の漫画に通じる表現
- 【使用実績に関すること】
- 美術史の資料として,「印象派」「ジャポニスム」などの項でまとめて名作を示したり,特徴を解説しており,時代の流れや特徴を理解するのに役立つ。(2・3 P92~P100)

日文	<p>【美術1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○使いたくなる焼き物をつくろう <ul style="list-style-type: none"> ・「蛸図大皿」バーナード・リーチ, 「色絵旅行用急須」 富本憲吉 「マグカップ」 森正洋, 「五弁の皿」 イサム・ノグチ, 「三彩鳥天使水注」 河井寛次郎 ○伝統の中の動物たち <ul style="list-style-type: none"> 地域の願いがはぐくむ造形 ・「青笹しし踊り装束」「ジャガマイタ」 栃木県 日本の各地で受けつがれてきた祭り ・獅子舞の装束の比較 <p>【美術2・3上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○表現の可能性を求めて <ul style="list-style-type: none"> ・「不動明王および二童子立像」 円空 木材の節や木目などの材料が持つ表情を生かした造形 ○墨が生み出す豊かな世界 <ul style="list-style-type: none"> さまざまな墨の表現を学び, 表そう ・「雲龍図」 狩野探幽, 「虻に双鶏図」 伊藤若冲, 「秋冬山水図・冬景図」 雪舟等楊, ○教科書美術館 東へ西へ 美術がつなぐ人と文化 <ul style="list-style-type: none"> ・「源平合戦図屏風 一の谷・屋島合戦図」 狩野吉信, 「日本の工芸品を眺める娘たち」 ジェームズ・ティソ, 「名所江戸百景より亀戸梅屋舗」 歌川広重, 「日本趣味・梅の花 (広重による)」 フィンセント・ファン・ゴッホ, 「北斎漫画より魚濫観世音図」 葛飾北斎, 「鯉文花器」 エミール・ガレ 浮世絵とヨーロッパの美術 ・「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」 葛飾北斎, 「富嶽三十六景 凱風快晴」 葛飾北斎 ・茶器に見る東西の美術文化 「景德鎮の染付茶器」 中国, 「京焼・清水焼の染付汲み出し茶碗」 日本, 「マイセンのティーカップ・ソーサー」 ドイツ ○漫画表現の豊かさ <ul style="list-style-type: none"> ・「鳥獣人物戯画卷」「北野天神縁起絵巻」「石山寺縁起絵巻」 線で描く伝統 ○日本の美意識 <ul style="list-style-type: none"> 自然の形体や材料を生かして ・「薄浅葱縮緬地杜若八橋模様染縫小袖」, 「漆絵梅文椀」 松田権六, 「色絵菊図向付」 尾形乾山 ・水引 ・和菓子, 若狭塗の箸の装飾 ・季節感を演出する工芸品 「吉野龍田図屏風」, 「金魚玉図」 神坂雪佳 ・自然物を材料にして飾ろう 「東福寺方丈庭園 市松の庭」 ・茶室に見る美意識 「待庵」 千利休, 「黒楽茶碗 銘 俊寛」 長次郎 ○手づくりを味わう喜び <ul style="list-style-type: none"> ・受けつがれてきた伝統工芸 「アットウシ」 ○色について理解を深めよう <ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統色 ・工芸品に見る日本の伝統色 「赤漆の器」「碧瑠璃杯」「浅葱麻地流水草木軒端模様帷子」
----	---

	<p>【美術2・3下】</p> <p>○美を探し求めて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「風雪」伊勢崎淳, 「紅型」新垣優香 優れた伝統の継承と新しい文化の創造 <p>○教科書美術館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「蓮華王院」(三十三間堂) 刻まれた祈り 仏像の種類と様式 ・「薬師寺如来立像」元興寺蔵, 「弥勒菩薩半跏思惟像」広隆寺蔵, 「不動明王像」教王護国寺蔵, 「雲中供養菩薩像南八号」平等院鳳凰堂蔵, 「迦楼羅王立像」蓮華王院(三十三間堂)蔵 <p>○自然を愛でる空間</p> <p>自然とのつながりから生まれた造形</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「桂離宮」 <p>◎日本の世界文化遺産 17</p> <p>◎受け継ぎつくる人の姿 20</p> <p>○文化財の保存と修復</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東大寺南大門の金剛力士立像の修復
--	---

主な特徴

開隆堂	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「原寸ギャラリー」で原寸大の一部を載せることにより, 全体の大きさを捉えることができるように工夫されている。 2. 富士山の絵を扱うことにより, 日本の自然や文化にふれるよう工夫されている。 3. 日本伝統の美や工芸を多く扱い, 歴史的, 文化的, 伝統的な背景をわかりやすく記述している。 4. 絵巻物を伝統的な表現方法が現代の漫画に活用されている観点から記載されている。 5. 仏像 他の国との比較で取り扱っている。
光村	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「原寸大で鑑賞しよう」で原寸大の一部を載せることにより, 全体の大きさを捉えることができるように工夫されている。 2. 縄文時代の土器を扱い古代の人々の造形のおもしろさにふれるよう工夫されている。風神雷神像と風神雷神図屏風を大きく載せている。 3. 自然とともにある日本の美, 季節感について取り扱っている。 4. 絵巻物を筆と点の豊かな表現等, 伝統的な表現方法が現代の漫画やアニメーションに通じていることを扱っている。 5. 仏像 他の国との比較で取り扱っている。 6. 日本の世界遺産を載せている。
日文	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「教科書美術館」で美術がつなぐ人と文化を取り扱い, 東洋から西洋への影響を系統立て作品で記載している。現代への影響にも触れている。 2. 浮世絵の原寸大, 和紙に似た紙を用いることにより, やわらかい印刷, 手触りと工夫が見られる。「妙法院蓮華王院」(三十三間堂)を大きく載せている。 3. 伝統の継承と新しい文化の創造で日本の美を取り扱っている。 4. 絵巻物の線の描き方について, 現代の漫画表現にも使われていることを取り扱っている。 5. 仏像 仏像の種類と様式で取り扱っている。 6. 日本の世界文化遺産と受けつぎつくる人の姿(伝統工芸)をわかりやすく載せている。

【美術】

観点	基礎・基本の定着
視点	④豊かな情操に関する内容の記述
方法	豊かな情操を養うための工夫

発行者	調査・研究内容
開隆堂	<p>道徳の学習と関連する内容を示しているマーク等の記載なし</p> <p>【美術1】 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ○心ひかれる風景 ○人の形のおもしろさ ○彫刻動物園 ○私の歩み <p>【美術2・3】 12</p> <ul style="list-style-type: none"> ○他人と違うこと、他人と同じであること ○私の「みち」 ○自分と向き合う ○絵巻物の世界 ○モノトーンの美しさ ○原寸ギャラリー「桜図」 ○伝統の美に学ぶ ○人間の形に込められたもの ○折りの造形 ○デザインする心 ○デザインで伝える ○生きることと美術

道徳の学習と関連する内容を示しているマーク等の記載あり

【美術1】4

○人のしぐさを捉える

- ・思いやりの心もち、相手の気持ちを尊重しよう。

○見つけた、触れた、ひらめいた

- ・自然を愛し、美しいものに素直に感動する豊かな心を育てよう。

○自然とともにある日本の美

- ・伝統の継承と文化の創造について考えよう。

○アジアをつなぐ仮面の舞

- ・さまざまな国の伝統や文化を尊重しよう。

【美術2・3】13

○情景、気持ちを重ねて

- ・美しいものに素直に感動する豊かな心を育てよう。

○浮世絵から学ぶ江戸の職人技

- ・伝統の継承と文化の創造について考えよう。

○自画像、今を生きるあなたへ

- ・自己を見つめ、充実した生き方を追求しよう。

○躍動感を捉えて

- ・生命の尊さを理解し、尊重しよう。

○ともにつくる喜び

- ・互いに励まし合い、信頼関係を深めよう。

○メッセージを伝えるポスター

- ・進んで社会と関わり、よりよい社会の実現に努めよう。

○情報を整理して伝える

- ・誰に対しても公正・公平で、差別のない社会の実現に努めよう。

○みんなのためのデザイン

- ・誰に対しても公正・公平で、差別のない社会の実現に努めよう。

○北と南の風土から

- ・郷土の伝統や文化を見つめ直し、大切にしよう。

○季節感のある暮らしを楽しむ

- ・伝統の継承と文化の創造について考えよう。

○暮らしやすい町づくり

- ・誰もが安心して生活できる社会の実現に努めよう。

○夢を形にするデザイン

- ・誰に対しても公正・公平で、差別のない社会の実現に努めよう。

○絵巻物を楽しむ

- ・伝統の継承と文化の創造について考えよう。

【例：伝統文化を引き継ぐ心等について関連する題材】

題材名「季節感のある暮らしを楽しむ」(2・3年、デザインや工芸)

記述内容「伝統の継承と文化の創造について考えよう。」

光村

道徳の学習と関連する内容を示しているマーク等の記載あり

【美術1】2

○身近な人を見つめて

- ・温かい人間愛の精神を深め、ほかの人々に対し思いやりの心を持とう。

○伝統の中の動物たち

- ・地域社会の一員としての自覚を持って郷土を愛し、郷土の発展に努めよう。

【美術2・3上】4

○しぐさで語る動物たち

- ・生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重しよう。

○墨が生み出す豊かな世界

- ・優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献しよう。

○漫画表現の豊かさ

- ・優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献しよう。

○やさしさのデザイン

- ・温かい人間愛の精神を深め、他人対し思いやりの心を持とう。

【美術2・3下】11

○美を探し求めて

- ・優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献しよう。

○夢を形にするデザイン

- ・理想の実現を目指し、人生を切りひらいていこう。

○私との対話

- ・自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求しよう。

○想像力を働かせて

- ・自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求しよう。

○問題意識を形に

- ・生活の中で道徳を重んじ、よりよい社会の実現に努めよう。

○共同制作の魅力

- ・それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解して、謙虚に他者に学ぼう。

○刻まれた祈り

- ・優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献しよう。

○「ゲルニカ」は語る

- ・美術作品から、時代や社会を読み解きながら、未来の人類の幸福について考えよう。

○自然を愛でる空間

- ・自然を愛護する心を持とう。

○デザインと環境

- ・自然を愛護する心を持とう。

○デザインで変える現在と未来

- ・社会との連携を考え、よりよい社会の実現に努めよう。

日文

	<p>【例：伝統文化を引き継ぐ心等について関連する題材】</p> <p>題材名「墨が生み出す豊かな世界」（2・3年上，絵や彫刻）</p> <p>記述内容「優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献しよう。」</p>
--	--

主な特徴

開隆堂	<ol style="list-style-type: none"> 1. 道徳の学習と関連する内容を示しているマーク等の記載はされていない。 2. 2・3の最後のページでは，生きることと美術で社会問題や共生について取り扱っている。 3. 伝統の継承と文化の創造について考える題材が多く取り上げられている。また，自然を愛し，美しいものに素直に感動する心を育てる題材も多く取り上げられている。
光村	<ol style="list-style-type: none"> 1. 道徳の学習と関連する内容を示しているマーク等の記載がされている。 2. 2・3の最後のページでは，中学校美術，最後の時間に作品を通じて自分への問いかけがされるよう工夫されている。 3. 伝統の継承と文化の創造について考える題材が多く取り上げられている。また，情報やデザインの題材を通して公正・公平で差別のない社会の実現をめざす工夫がされている。
日文	<ol style="list-style-type: none"> 1. 道徳の学習と関連する内容を示しているマーク等の記載がされている。 2. 2・3の下最後のページでは，中学美術からの巣立ちとメッセージが送られている。 3. 伝統の継承と文化の創造について考える題材が多い。また，題材ごとに道徳の視点を掲載し，意識できるよう工夫されている。

【美術】

観点	主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤興味・関心を高めるための工夫
方法	学習内容の表示の仕方及びマーク等の活用の具体例

発行者	調査・研究内容
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・題材の内容が色分けをして示されている。 ・基礎的技法や知識などの習得させたい内容や安全に留意する内容等、5種類のマークが示されている。 <p>【例：安全や注意に関する内容】 題材名：わたしの「みち」（2・3年生 絵や彫刻） 「撮影するときは安全に注意するとともに、撮影する場所や人のプライバシーに配慮する必要がある。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・項目の文字の大きさや配置など変化をつけて表している。 ・項目の書体は太いゴシック。 ・小項目と連動した学習内容を簡潔な一文と◇のマークで示している。 ・扱う題材によって表現手段や制作方法がまとめられている。
光村	<ul style="list-style-type: none"> ・題材の内容が色分けをして示されている。 ・形・色・材料・光などがもたらすイメージについて考えるための問いかけや、発想を広げたり構想を練ったりする際のヒント等、10種類のマークが示されている。 <p>【例：作品をつくる際の安全についての注意事項】 資料：映像メディアを活用する（2・3年 学習を支える資料） 「撮影禁止の場所や他の人の顔を無断で撮ることは、プライバシーの侵害になるのでやめよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・項目の書体は、特殊な明朝。影をつけることで文字が少し浮き出て見える。 ・それぞれのマークが表す内容を確認すると、効果的な学習が進められるようになっている。
日文	<ul style="list-style-type: none"> ・題材の内容が色分けをして示されている。 ・各題材の学びのねらいやポイント、作品を作る上での安全に関する注意点等、8種類のマークが示されている。 <p>【例：作品を作る上での安全に関する注意点】 資料：写真撮影の第一歩（2・3年下 学習に役立つ資料） 「公共の場では、撮影が禁止されているところもある。また、他人の顔を無断で撮ることはプライバシーの侵害になる。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・項目の書体は丸みのあるゴシック。漢字とひらがなで太さを変えて表示。 ・学びのねらいに合わせた4観点にもとづくマークを使用。

【美術】

観点	主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥発想や構想を促すための工夫
方法	生徒の発想や構想を促す作品例とヒント等の記述

発行者	調査・研究内容
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が活動している姿（みる、表す、工夫している、発表している）が示されている。 ・作品をどういう気持ちや方法を用いて制作したか、作家や生徒自身の言葉が掲載されている。 <p>【例】 題材名「人の形のおもしろさ」（1年生、絵や彫刻） 作品名「スペシャルショット」（生徒作品） 「友達がシュートする瞬間の気持ちを想像して、刷毛で絵の具を画用紙にのせました。その上から、コンテを使って描き加えました。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・◇のマークのあとには必ず関連する生徒作品あるいは作家の作品例を示している。 ・「発想のヒント」や「構想、技法」についてまとめて表されている。 ・生徒が思考をめぐらせている様子を吹き出しなどで表している。 ・発想を高める工夫としてイメージマップを掲載している。 ・資料集などに掲載されることが多い生徒のアイディアスケッチの提示あり。
光村	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の活動している姿（みる、表す、工夫している、発表している）とともに、生徒が発想や構想を練る際のヒントが示されている。 ・作品をどういう気持ちや方法を用いて制作したか、作家や生徒自身の言葉が掲載されている。 ・「みんなの工夫」という欄を設け、生徒自身が制作過程においてイメージしたことや技法等工夫したこと等の言葉が示されている。 <p>【例】 題材名「人のしぐさを捉える」（1年生、絵や彫刻） 作品名「走り出す時」（生徒作品） 「走り出す瞬間の、友達の元気ではじける雰囲気であらわしたかったので、明るいオレンジや黄緑を中心に使いました。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料集などに掲載されることが多い生徒のアイディアスケッチの提示あり。
	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が活動している姿（みる、表す、工夫している、発表している）が示されている。
日文	<ul style="list-style-type: none"> ・作品をどういう気持ちや方法を用いて制作したか、作家や生徒自身の言葉が掲載されている。

【例】

題材名「身近な人を見つめて」(1年生, 絵や彫刻)

作品名「絵を描く友だち」(生徒作品)

「彼女の優しい性格が伝わるように, やわらかい色をつかい, 温かい雰囲気がでるように工夫しました。」

- ・資料集などで掲載される生徒のアイデアスケッチの提示あり。

【美術】

観点	内容の構成・配列・分量
視点	⑦題材等の配列
方法	題材等の数及び構成や配列

発行者	調査・研究内容																		
開隆堂	<p>【目次について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材内容をページの左右に色と文字で示している。 ・題材ごとに振り返りの4観点を示している。 (右側に赤, 黄, 緑, 青で4観点を示してある, また振り返りを強調している。) ・基本的な技法 ・題材に関連する知識 ・鑑賞のきっかけとなる問いかけ ・安全 4つのマークが示してある。 ・題材を「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「ガイダンスや資料的な内容」の3つの分野等に分けて配列している。 <table border="1" data-bbox="347 958 1230 1169"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学年</th> <th rowspan="2">題材数</th> <th colspan="3">分野別の題材数</th> </tr> <tr> <th>絵や彫刻など</th> <th>デザインや工芸など</th> <th>ガイダンスや資料的な内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年生</td> <td>19</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>2・3年生</td> <td>29</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p>鑑賞については、表現の題材と一体となって配列されている。</p>	学年	題材数	分野別の題材数			絵や彫刻など	デザインや工芸など	ガイダンスや資料的な内容	1年生	19	7	4	8	2・3年生	29	9	8	12
学年	題材数			分野別の題材数															
		絵や彫刻など	デザインや工芸など	ガイダンスや資料的な内容															
1年生	19	7	4	8															
2・3年生	29	9	8	12															
光村	<p>【目次について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめに ・絵や彫刻など ・デザインや工芸など ・学習を支える資料 (目次が順番に4つに分けられている。) <p>●表現中心の題材 ◆鑑賞中心の題材 ★学習を支える資料 (3つをマークで示してある)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標, 形・色・材料・光, 発想, 作者の言葉, 生活に生かそう, 国宝, 学習を深める内容, 安全, 道徳, 技法・用具の使い方と9種類のマークが示してある。 <p>・題材を「表現中心の題材」「鑑賞中心の題材」「学習を支える資料」の3つの分野等に分けて配列している。</p>																		

学年	題材数	分野別の題材数		
		表現中心の題材	鑑賞中心の題材	学習を支える資料
1年生	27	11	7	9
2・3年生	40	24	9	7

・2年生の題材を・・・で、3年生の題材は一で示し、選ぶ目安にしている。

【目次について】

- ・オリエンテーション
 - ・絵や彫刻
 - ・デザインや工芸
 - ・学習に役立つ資料
- (4つに色分けされている。)

- 表現する活動を主にした内容。
 - ▲鑑賞する活動をおもにした内容。
 - オリエンテーションと学習に役立つ資料。
- (3つのマークが示してある)

学びのねらい

- ・マークによって題材ごとに「学びのねらい」を示している (4観点にわけてある)
- ・題材を「表現する活動を主にした内容」「鑑賞する活動を主にした内容」「オリエンテーションと学習に役立つ資料」の3つの分野等に分けて配列している。

学年	題材数	分野別の題材数		
		表現する活動を主にした内容	鑑賞する活動を主にした内容	オリエンテーションと学習に役立つ資料
1年生	30	14	4	12
2・3年生上	26	11	5	10
2・3年生下	30	12	5	13

日文

【美術】

観点	内容の構成・配列・分量
視点	⑧掲載している作品数
方法	サイズを明記している, 作家及び生徒の作品数

発行者	調査・研究内容		
開隆堂	<p>【作品数】</p> <p>(美術1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒作品 89 ・作家作品 22 (下絵も含む) ・職人の作品 3 <p>(美術2・3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒作品 155 (アイデアスケッチも含む) ・作家作品 163 (エスキースも含む) ・職人の作品 18 <p>【気づき】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職人の仕事が多い。 ・制作順序, 制作している生徒の作品, 写真が多い。 ・同じ作品を部分拡大されている。 ・サイズ, 時代は明記されている。 		
光村	<p>【作品数】</p> <p>(美術1)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・児童作品 1 ・生徒作品 57 ・作家作品 62 ・職人の作品 3 </td> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・布の模様, 染め物 13 ・土器, 出土品 3 ・民族, 仮面など </td> </tr> </table> <p>(美術2・3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒作品 94 ・作家作品 112 ・出土品 3 ・ポスター 20 <p>【気づき】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制作の流れが分かりやすい。 ・模様, 伝統文化が多い。 ・バリアフリー, 義足を取り上げている。 ・アイデアスケッチが多く, 制作の流れが分かりやすい。 ・同じ作品を部分拡大している。 ・サイズ, 時代は明記されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童作品 1 ・生徒作品 57 ・作家作品 62 ・職人の作品 3 	<ul style="list-style-type: none"> ・布の模様, 染め物 13 ・土器, 出土品 3 ・民族, 仮面など
<ul style="list-style-type: none"> ・児童作品 1 ・生徒作品 57 ・作家作品 62 ・職人の作品 3 	<ul style="list-style-type: none"> ・布の模様, 染め物 13 ・土器, 出土品 3 ・民族, 仮面など 		

日文	【作品数】		
	(美術1)		
	・生徒作品	95	・伝統文化・模様 8
	・作家作品	41	・デザイナーのインタビュー
	・ポスター	3	
	(美術2・3上)		
	・生徒作品	59	・作家作品 96
	・作家作品	96	
	・本の表紙	3	
	(美術2・3下)		
	・生徒作品	61	
	・作家作品	35	
	・仏像	8	
	【気づき】		
・水墨画，版画のページの紙の種類が違う。			
・日本美術と漫画を比較してある。			
・和菓子が取り上げている。			
・伝統工芸の作家の作家を取り上げている。			
・日本文化を多く取り上げている。			
・サイズ，時代は明記されている。			

【美術】

観点	内容の表現・表記
視点	⑨紙面構成の工夫
方法	見開きページや折り込みページの紙面構成

発行者	調査・研究内容
開隆堂	<p>【1年生：折り込みページの内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス「美術って何だろう?」「集める・試す・組み立てる」 ・絵や彫刻など「心ひかれる風景」 ・資料的な内容「道具箱」「色彩ホームページ」 <p>【2・3年生：折り込みページの内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス「他人と違っていること、他人と同じであること」 ・資料的な内容「生きることと美術」「ゲルニカ」「人の表現から見る美術の歴史」 <p>見開き、折り込みページには、次の作家等の作品が掲載されている。</p> <p>【1年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラヤんの空飛ぶ方舟大作戦【ヤノベケンジ】 ・柳のある明るい朝【クロード・モネ】 <p>【2・3年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幻の華【草間彌生】 ・群青富士（右隻）【横山大観】 ・ゲルニカ【パブロ・ピカソ】
光村	<p>【1年生：折り込みページの内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめに「感じたことを話し合おう」「美術って何だろう?」 ・絵や彫刻など「特別展示室『風神雷神、自然と人と』」 ・学習を支える資料「色と光の特徴を知ろう」 「形と材料の特徴を知ろう」 <p>【2・3年生：折り込みページの内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめに「感じたことを話し合おう」 「朝起きてから夜眠るまでの美術」 ・絵や彫刻など「特別展示室『ゲルニカ、明日への願い』」 ・学習を支える資料「美術史年表」「絵巻物を楽しむ」 <p>見開き、折り込みページには、次の作家等の作品が掲載されている。</p> <p>【1年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生【マルク・シャガール】 ・風神・雷神像（蓮華王院，三十三間堂） ・風神雷神図屏風【俵屋宗達】 <p>【2・3年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阿修羅像（興福寺） ・ゲルニカ【パブロ・ピカソ】 ・鳥獣人物戯画（高山寺）

	<p>【使用実績に関すること】</p> <p>原寸大の提示が作品の魅力が大変効果的に伝えている。一例として、2・3年 P24・25 ゴッホの「灰色のフェルト帽の自画像」では、色の重なりを確認できたり、筆遣いを感じられたりして実技の学習にも役立った。</p>
<p>日文</p>	<p>【1年生：折り込みページの内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション「出会って広げよう」 「図画工作、そして…美術へ」 ・絵や彫刻など「教科書美術館『花の生命』」 ・学習に役立つ資料「色の広がり、色の魅力」 「モダンテクニック」等の技法 <p>【2・3年生上：折り込みページの内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション「学びを深めよう」「表現の可能性を求めて」 ・絵や彫刻など「教科書美術館『東へ、西へ…』」 ・学習に役立つ資料「日本美術の展開と世界との交流」 「現代に受け継がれる浮世絵版画」等の技法 <p>【2・3年生下：折り込みページの内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション「美を探し求めて」 「夢をかたちにするデザイン」 ・絵や彫刻など「教科書美術館『刻まれた祈り』」 ・学習に役立つ資料「アートを体験する場に出かけよう」 「写真撮影の第一歩」等の技法 <p>見開き、折り込みページには、次の作家等の作品が掲載されている。</p> <p>【1年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種まく人（部分）【フィセント・ファン・ゴッホ】 ・奄美の海に蘇鐵とアダン【田中一村】 <p>【2・3年生上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塔の入り江（部分）【井上直久】 ・神奈川沖浪裏，凱風快晴【葛飾北斎】 <p>【2・3年生下】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬師如来立像（国宝）等の仏像6体 ・妙法院蓮華王院（三十三間堂）

	開隆堂		光村		日文	
	1年	18	1年	18	1年	16
折り込みページの数	2・3年	14	2・3年	18	2・3年	24
折り込みの良さを生かした観音開きの作品掲載数とその工夫	1 ◎観音開きの画面を生かして、制作の意図や構想などを記している。		2 ◎観音開きの4ページ画面を生かして、屏風の左右や長細い画面を掲載している。特に、鑑賞に集中できるように、背景の色彩やレイアウトが配慮されている。		3 ◎観音開きの4ページ画面を生かして、左右に原寸大の浮世絵を配置したり、画面いっぱい迫力ある作品にしたりしている。特に、東西の美術が影響し合った流れが折り込みを生かして構成されている。	
折り込みページの折り方	谷折り 山折り		山折り ◎折り込みページを開く時、視線の動きを考えた鑑賞等に集中できるレイアウトになっている。		谷折り	
3ページ4ページにまたがる大きな作品の掲載	4		3		3	
3ページ4ページにまたがる解説・年表	3		3		6	
大きさ	A4 (29.5×21)		A4 (29.5×21)		A4+α (29.5×23) ◎横が20mm大きい。 特に、折り込み画面いっぱいに作品が印刷されているので迫力ある作品掲載になっている。	
総ページ数	57+107=164		67+105=172		59+57+55=171	
冊数	◎「1」「2・3」の2冊「2・3」を1冊でまとめることで、従来2,3年生の授業において2冊持参させていたものを1冊にまとめている。		◎「1」「2・3」の2冊「2・3」を1冊でまとめることで、従来2,3年生の授業において2冊持参させていたものを1冊にまとめている。		「1」「2・3上」「2・3下」の3冊となっている。「2・3上」が「学びの深まり」, 「2・3下」が「美の探求」をテーマにしているが、その違いが明確でなく2冊持ち歩くことになる。	
紙質	アート紙		アート紙		アート紙 ◎「2・3上」p23~30の折り込みにおいて鳥の子紙のような紙を使い、和紙に表現される墨と浮世絵の良さを感じさせている。	

<p>「2・3」最後のページにおける内容</p>	<p>○「色彩ホームページ」という資料になっている。 年表をはさみ、その前に「生きることと美術」で美術表現の意義を示している。</p>	<p>◎教科書のテーマである「うつくしい！」をワイエスの作品と共に示している。</p>	<p>◎写真作品「春が舞う」と共に、美術からのメッセージを示している。</p>
<p>絵巻物のページ (日本美術)</p>	<p>◎「2・3」p38～43は、実際の絵巻物を見る方向を体験することができるように、p43から逆にページをめくる新鮮な構成になっている。上部に「伴大納言絵詞」下部に「鳥獣人物戯画」、その間に解説がある。</p>	<p>○折り込み3ページにわたり「鳥獣人物戯画」を掲載。上部に絵巻物、下部に解説があり、解説で確かめつつ鑑賞できる。</p>	<p>「漫画表現の豊かさ」において、切り取った場面にして触れているだけである。</p>

【美術】

観点	言語活動の充実
視点	⑩鑑賞の題材で、作品に対する思いや考えをもたせるための工夫
方法	鑑賞の題材での、掲載作品の示し方の工夫や解説の内容

発行者	調査・研究内容
開隆堂	<p>○鑑賞題材の作品全体と原寸大の一部を示し、時代背景や作家の画風、作品の技法等の解説が示されている。</p> <p>【鑑賞題材例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 樹花鳥獣図屏風【伊藤若冲】 ・ モナ・リザ【レオナルド・ダ・ヴィンチ】 ・ 桜図【長谷川久蔵】 <p>○作品の解説は、一部の作品に掲載されているが数は少ない。内容は一般的な解説や作者の言葉。あえて解説は示さず、作品ごとに鑑賞の視点を吹き出しで示すことで生徒自身に考えさせようという意図が伺える。</p> <p>○一部の生徒作品に簡潔な作者の言葉が掲載されている。内容は表現意図の説明や制作後の感想といったもの。</p> <p>○お気に入りのものをスケッチし、生徒直筆のお気に入りの理由とともに作品掲載している。(スケッチの導入としての工夫) (1-P8)</p> <p>○「お気に入りはどこ？」と題して、形や色彩、機能などの視点から二つのお弁当箱を比較鑑賞させている。(「お気に入り」が、思考のひとつのキーワードとなっている。) (1-P42. 43)</p> <p>○ゴッホの手紙と作品を関連づけて掲載し、彼の言葉からゴッホの新しい表現への挑戦を探るような鑑賞題材が工夫されている。(2・3-P52. 53)</p>
光村	<p>○鑑賞題材の作品全体と原寸大の一部を示し、時代背景や作家の画風、作品の技法、材料の使い方や装飾の工夫等の解説が示されている。</p> <p>【鑑賞題材例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 灰色のフェルト帽の自画像【フィセント・ファン・ゴッホ】 ・ 鳥獣花木図屏風【伊藤若冲】 ・ 平螺鈿背円鏡 <螺鈿装飾が施された鏡> ・ 火焰型土器 <縄文土器> <p>○作品の解説は、一部の作品に掲載されておらず、内容は一般的な解説や作者の言葉。</p> <p>○一部の生徒作品に作者の言葉が掲載されている。内容は表現意図まで示していたり制作の感想にとどまっていたり特に統一感はない。</p> <p>○見開きなどの大きな作品の鑑賞ページに、単なる解説文ではなく詩を掲載している。(詩と絵画作品を関連づけてよりイメージを広げて味わわせる工夫。)(1-P2. 3, P22~27, 2・3-P2. 3, P26. 27, P40~45, P104. 105)</p> <p>○「アジアをつなぐ仮面の舞」と題して、日本とアジア3国の仮面の違いや共通点を比較鑑賞できるようにしている。また、色使いや材料に視点を当て地域性を感じ取るような鑑賞のポイントが示されている。(1-P45. 45)</p>

	<p>○現在活動中のアーティストにスポットを当て、各作家の思いとこだわりを解説文と短いことばとともに掲載している。(1-P46. 47, 2・3P78. 79)</p>
<p>日文</p>	<p>○鑑賞題材を1ページに大きく示し、絵にどんな場面が描かれているか、作者が作品に託した願いや描き方、構図等、絵を見る視点についての解説が示されている。</p> <p>【鑑賞題材例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バレエの授業【エドガー・ドガ】 ・ヒマワリの花のある庭【グスタフ・クリムト】 ・奄美の海に蘇鐵とアダン【田中一村】 ・神奈川沖浪裏, 凱風快晴【葛飾北斎】 <p>○作品の解説は、ほぼ全ての作品に掲載されている。内容は技法や表現意図、一般的な解説が個別に示されている。</p> <p>○全ての生徒作品に作者の言葉が掲載されている。内容は単なる感想ではなく「作者の表現意図」と「それを表すための工夫」を関連づけて示すという統一感がある。(生徒が制作する際の発想・構想場面で参考となるような配慮。)</p> <p>○「私が見つけた物語」と題して、絵の中に入り込んで登場人物に託された思いや自分なりの物語を見つけ出すというユニークな鑑賞題材がある。(1-P20. 21)</p> <p>○「なぜか気になる情景(1-P12. 13)」「ここでシャッターを切った理由(2・3下-P18. 19)」と題して、作者が心惹かれた理由とともに作品を掲載しており、気になった場所をどのように工夫して表現しているかを感じ取り、自分の作品につなげるようにしている。</p>

【美術】

観点	言語活動の充実
視点	⑩鑑賞の題材で，作品に対する思いや考えをもたせるための工夫
方法	言語活動の示し方及び具体例

発行者	調査・研究内容
開隆堂	<p>○鑑賞して感じたことや調べて分かったこと等をカードにまとめた例が示されている。</p> <p>【例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材名「美しさの交流」(1年生) 「私たちは廊下に展示された2年生の絵画作品を鑑賞し，作品と題材から受けた印象を言葉にして，作品紹介カードにしました。」 <p>○鑑賞を深めるための話し合いを促す言葉が掲載されている。</p> <p>【例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材名「環境と響き合う形」(2・3年生) 「作品のある場所や大きさを考え，感じたことを話し合ってみましょう。」 ・題材名「デザインする心」(2・3年生) 「形や色彩，構成を手がかりに，日本らしさとは何かについて話し合ってみましょう。」 <p>○言葉では表すことができないもの，言葉では十分に伝えられないことを「形」や「色」を使って，視覚や体全体に訴えかけ，自分の考えや思いを伝えることを学ぶのが美術であるという記述がある。(1-P2)</p> <p>○身の回りの風景から見つけた美しさを言葉に置き換えて写真内に具体的に掲載することで，風景画の場所選定の際の着眼点をイメージしやすくしている。(1-P13.14)</p> <p>○「不思議昆虫図鑑」と題して，虫の名前，性格や動き，好みの食べ物，生息地などを想像し作品とともに掲載することで，言葉と美術的表現を関連づけた想像力を育もうとする題材がある。(1-P24.25)</p> <p>○作品と題名から受けた印象を言葉にして作品紹介カードをつくるという具体例が掲載されている。(1-P47)</p> <p>○内面を描く自画像や空想表現，デザインの題材で，発想・構想を整理する方法として言語活動を取り入れた具体例を示している。(23-P26, 30, 71)</p> <p>○抽象表現の題材で，言語の意味を線や形，色彩で表現する具体的事例が紹介されている。(23-P34)</p>
光村	<p>○鑑賞して感じたことや調べて分かったこと等をレポートにまとめた例が示されている。</p> <p>【例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材名「自然とともにある日本の美」(1年生) 「身の回りで自然や季節の美を取り入れているものを写真に撮って集め，特徴を話し合い，レポートにまとめた。」 <p>○鑑賞を深めるための話し合いを促す言葉が掲載されている。</p>

	<p>【例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材名「灰色のフェルト帽の自画像」(2・3年生) 「ゴッホは補色の対比を用いた作品を数多く描いた。画集から他の作品を探し、色の使い方からどんな印象を受けるか話し合おう。」 ・題材名「ゲルニカ、明日への願い」(2・3年生) 『ゲルニカ』を描いたピカソにとって、生きるとはどのようなことだったのだろうか。作品を見て感じ取ったことをみんなで話し合ってみよう。」 <p>○お気に入りのものをスケッチする、手ぬぐいをデザインする題材などで、制作者自身の心の動きをつぶやきのような言語と写真で紹介し、制作課程を具体的事例で示している。(1-P10 23-P52)</p> <p>○言葉から発想を広げ、新しい生物を生み出すという言語活動の具体的事例が示されている。(23-P20)</p> <p>○言葉や文章のイメージを、形や色、材料に置き換えて表現するという言語活動の具体的事例が示されている。(23-P33)</p>
<p>日文</p>	<p>○鑑賞して感じたことや調べて分かったこと等をレポートにまとめた例が示されている。</p> <p>【例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材名「鑑賞との出会い」(1年生) 「お気に入りの作品が見つかったら、それについて調べましょう。そして、鑑賞して感じたことや調べてわかったことをまとめましょう。」 <p>○鑑賞を深めるための話し合いを促す言葉が掲載されている。</p> <p>【例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材名「名画の魅力に迫る」(2・3年生上) 「作品の構図、遠近や明暗の表現、人物の動きや表情などに着目し、思ったことや考えたことについて話し合しましょう。」 ・題材名「刻まれた祈り」(2・3年生下) 「それぞれの仏像の種類とのかかわりも考え、細部の表現と全体から受けるイメージの鑑賞を行き来し、込められた思いについて考えたことを話し合しましょう。」 <p>○鑑賞との出会いと題して、感じたことを言葉にする活動で具体的な言葉の例を示すことで言語活動との関わりを意識した鑑賞となるようにしている。また、鑑賞レポートという具体的な資料を掲載している。(1-P18)</p> <p>○心でとらえたイメージから思いつく形や色を、まずは言葉に置き換えてそこから構想を練るという言語活動の具体的事例が掲載されている。(23上-P17)</p> <p>○全体的には言語活動の具体的事例は少ないものの、生徒作品一つ一つに豊富な内容の作者の言葉が掲載されており、その内容が言語活動を意識したものになっている。</p>